

学校全体で取り組むために ICT が苦手な先生方にどんな働きかけをしたのかをリオデジャネイロ日本人学校の吉村先生にきいてみましょう！

① ICT が苦手な先生方に ICT を身近に感じられる工夫としてどのようなことをされましたか？

主に二つのことを行いました。

一つ目は、校内研修を行いました。具体的には文部科学省のホームページでも紹介されているプログラミング教材「Scratch（スクラッチ）」を取り上げ、体験してもらいました。これまでプログラミングという言葉に対して抵抗があった先生方も、実際にプログラミング体験をすることを通して、プログラミング思考について考え、興味を持つきっかけになりました。今後も、体験を通して ICT が苦手な先生方に「難しそうだと思っていたけど、意外とできるかも！」という気づきを感じてもらえるような研修を行っていききたいと思います。

二つ目は、情報共有を常に行える体制を整えたことです。具体的には、職員室等で個別に話していた困りごと等を、その場だけで解決するのではなく、全体に共有できるように、昨年度から PMIQ シートを活用しています。オンライン授業を始めたばかりの頃は、どの先生も悩みや、困り事を抱えており、その都度 ICT が得意な先生に聞くというシステムができていました。しかし、PMIQ シートを導入し、
P（良い・わかったこと）、M（課題）、
I（面白い・工夫）、Q（問い）
を全教員で共有することで、少しずつ変化がみられました。PMIQ シートは毎週更新されるため、ICT に関する知識や経験の蓄積がされていきました。その結果、教員全体の

ICT が苦手な先生も 合同遠隔授業！

ICT の知見を少しずつですが、広げていくことができただけでなく、新しくやってきた先生方もそのシートを見ることで、多くの課題を解決することができました。また、PMIQ シートは Google スプレッドシート上で共有していました。教員はいつでも書き込めるし、どこからでもチェックできる環境を整えることができました。コロナ禍で教員も学校に行けない日々が続いたため、複数人で同時編集が可能な Google スプレッドシートは非常に役に立ちました。例えば、自宅でオンライン授業を行い、課題があった先生はすぐに書き込み、その課題を他の先生方で考え、みんなで解決していくという流れです。もちろん課題だけではなく、うまくいった事や良かった事も共有しました。



今後も PMIQ シートを使用しながら、情報共有するとともに、対面やオンラインでの実践研究の中で、課題解決をし、知見を蓄積し、環境改善をしていきたいと思っています。

② 今後、さらに先生方に ICT を身近に感じて頂くために、どのような取り組みをしていきたいと考えていますか？

新たな研修を実施したりするのではなく、今まで通りやりながらでてきた課題を一つずつ解決していければ良いなと思います。何かあったらすぐに共有するという協力体制を続けていくことで、一人一人の ICT に対する抵抗を無くすることもそうですが、チームとして成長できればと思います。

報告：リオデジャネイロ日本人学校
吉村先生

ヒアリング：AG5 研究補助員 関 温理

P (良い・分かったこと)	M (課題)	I (面白い・工夫)	Q (問い)	連絡板
<p>・zoomで共有画面を利用するための方法には次のようなやり方がある。</p> <p>①会議を開始したホストが「他の共有を許可」する。</p> <p>②会議を開始したホストが、共有画面を使う人を「共同ホスト」に設定する。(会議を開始するホストが有料ライセンスをもっていることが必要)</p> <p>・zoomで部屋で1台だけオーディオ接続しているときは、スピーカービューにしても発言者の顔に自動的に切り替わらない。→ホストが共同ホストが参加者画面でその人を「全員にスポットライト」指定する必要がある。また、次の人に切り替えるときは、「スポットライトを置き換える」を使うとスムーズにできる。</p> <p>・高学年部会の顔合わせ会では、SPとRJの子どもたちがそれぞれの特徴を生かして楽しく交流できたことは良かったと思う。SPの画面の名前表示の部分を使ってメッセージを作ったことなど、オンラインだからこそできる仕掛けを工夫していたと思う。</p>	<p>・学校のインターネットが遅くなることがあるので、どうしてか調べるためにClaroの人に来てもらった。→事務室で事務員、事務長、情報担当で対応し、インターネットを早くするために2つの方法があることがわかった。</p> <p>①インターネット回線の最初の入り口である機器(ルーター)が古く性能が低いので、これを性能の高い機器に交換することで、回線速度の改善が見込める。</p> <p>②インターネットの使用量が、2月258GB(byte)、3月256GB、4月408GB、5月312GB、6月369GBであった。本校の現在のClaroとの契約は、速度が240M(Byte/s最大値)、1ヶ月のデータ使用量150GBを超えると回線速度が遅くなるようになっている。Claroの人のアドバイスによると、事務室の契約はそのままにしておき、それとは別にもっと速い回線速度で1ヶ月のデータ使用量を500GB以上の契約に変えた方が良いとのことだった。私は、事務室の使用量や必要な回線速度はそれほど多くないので、両方同じ回線で、回線速度が高く、1ヶ月のデータ使用量が多い契約に変えた方が良かったと思った。</p> <p>他のインターネット速度改善の方法としては、次の2つが考えられる。(吉村)</p> <p>④職員室から旧アクセスポイントまでのケーブルをカテゴリ5からカテゴリ6に換える。</p> <p>⑤旧アクセスポイント(廊下の中央に設置している2個)を高性能のものに換える。</p> <p>・「学校ホームページの学校日記(2016年度)に個人情報載っているのが気になる」とメールでの連絡があった。→校長と相談し、2016年度以前の学校日記のwebページを削除した。</p> <p>・古いWiFiのアクセスポイント(Buffalo)からのインターネット接続が遅かったり、途切れたりすることがある。</p>	<p>・zoomでハウリングしないようにするには、各部屋1台だけオーディオ接続をして、他はしないようにする。そのオーディオ接続する機器には、ヤマハのコミュニケーションマイク・スピーカーシステムをUSBで接続するとノイズも減るし、相手の声が全体に聞こえやすくなる。</p> <p>・コミュニケーションマイク・スピーカーシステムを接続しても、zoom画面のマイクアイコン横の矢印(v)をクリックしてヤマハのコミュニケーションマイク・スピーカーシステムに切り替えていないと、パソコン本体のマイクから音を拾ってしまうので、確認が必要である。</p>	<p>zoomの機能を使って遊べるゲームはないのでしょうか。NHK番組で紹介されていたオンラインでのゆるスポーツとして、顔の表情を変える競争や、眉毛を動かす競争などを行っていました。専用のアプリが必要なかもしれませんが、参加者の画面にカウント表示が出ていました。楽しくできることがあるといいなと思いました。</p> <p>→ゆるスポーツ(https://yurusports.com/sports/anyurusports)ですね。面白そうなのでやってみました。</p> <p>①Snap Cameraをインストールする。(設定手順書のリンクがあります。)②zoomでSnap Cameraを使える設定をする。(zoomのビデオ設定からできます。)③「Yuru Sports Snap Camera」からレンズのURLをコピーする。④Snap Cameraを起動して、コピーしたレンズのURLで検索し、やりたいYuru Sportsのレンズを選ぶ。⑤zoomを起動する。⑥フェイスビルディングをやる場合は、Snap Cameraの画面をクリックすると、カウンターがスタートして、表情を変えるとカウントされます。(やってみると52点でした)。⑦画面が反転しているときは、zoomのビデオ設定でミラーリングをオフにします。</p>	<p>・6月28日(月)15:30 SPRJ低学年部会</p> <p>・6月28日(月)小学1年、日本に一時帰国した児童1名とハイブリッド授業(対面授業と平行したオンライン授業)開始(準備:)</p> <p>・6月28日(月)小学5年、一時帰国中の児童1名とハイブリッド授業継続中(準備:)</p> <p>・6月29日(火)8:20-9:00 SPRJ合同授業(RJ中学1年1名とSP中学1、2年13名、体育理論「オリンピック」)</p> <p>・7月1日(木)10:40-11:25 総合 高学年顔合わせ</p> <p>・7月1日(木)15:30-低学年部会 接続テスト(打ち合わせ)</p> <p>・7月2日(金)15:00-17:00 Claroの人が来て、WiFiやLANの速度改善について、診断・相談。(担当:)</p> <p>・7月2日(金)ホームページ学校日記(2016年度以前)を削除</p>